

〈調査票の記入要領・記入例〉 (医療, 福祉)

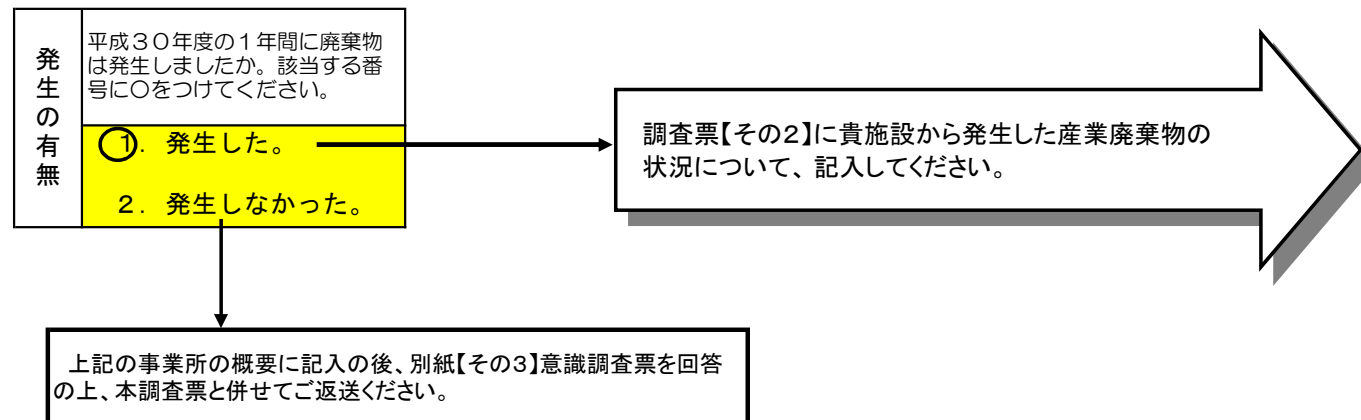
- ※ この資料には、調査票の具体的な記入例が記載してあります。
- ※ お手数ではございますが、この「記入例」を参考にして調査票にご記入の上、令和2年1月17日(金)までに同封の返信用封筒(切手不要)又は電子メールにて、ご返送くださいますようお願いいたします。
電子メールの回答先: hiroshimacity-sp@gr-eco.co.jp
- ※ 本調査に関するお問い合わせは、(株)グリーンエコ (電話 0120-848-036) へ、お願いいたします。
- ※ ご提出いただいた調査票の記入内容について、電話等により確認させていただく場合もありますので、必ず調査票の控えを取っておいていただきますようお願いいたします。

調査票【その1】の記入要領・記入例

の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考にして調査票【その1】を記入してください。

事業所の概要	事業所名	△△△病院			主な診療科目	内科
	所在地	〒731-xxxx 広島市△-□□				
	フリガナ	ヒロシマ タロウ	フリガナ	ミハラ ハナコ		
	代表者氏名	広島 太郎	記入者 (部課、氏名)	〇〇部〇〇課 三原 花子		
	記入年月日	令和 元年 △月 〇日	電話番号	082-12-3456		

事業の概要	従業者数(職員数)	病床数
	平成31年3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入してください。	平成31年3月31日現在の病床数を記入してください。
	60人	100床



<調査票の記入要領・記入例>

形式-P: 54

調査対象期間
●この調査の対象期間は、平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の1年間です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～④までの流れに従って記入してください。

調査対象とする事業所と廃棄物
●この調査では、調査票が送付された事業所内で発生した廃棄物だけが記入の対象となります。
●廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面の「廃棄物分類表」を参考にしてください。

発生量について
●発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答えください。
○**自社で焼却**している場合、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。（記入例Bを参考にしてください）
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、燃やす前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後の量」となります。
○**自社で汚泥を脱水**している場合の発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。
汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式より計算してください。
<式>：（脱水前の汚泥発生量）＝（脱水後の汚泥量）×（100%－脱水後の含水率%）÷（100%－脱水前の含水率%）

記入について
●同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入してください。
●廃棄物量をkg(キログラム)又は、リットル以外の単位で把握している場合は、できる限り換算して記入してください。また、個数や本数の場合も1個当たりの重量等より換算してください。
●委託処理については、マニフェスト伝票を参考に記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認しううえで記入してください。

調査票【その2】の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。
記入例を参考に調査票【その2】を記入してください。

④中間処理方法コード表

A: 焼却	F: 中和	K: 切断	P: 乾熱滅菌	V: 濃縮
B: 脱水	G: 破碎	L: 焼成	Q: 煮沸	W: 油化
C: 天日乾燥	H: 分級	M: 堆肥化	(15分以上)	X: 造粒固化
D: 機械乾燥	I: 圧縮	N: 銀回収	R: オートクレーブ	混練固化
E: 油水分離	J: 溶融	O: コークリート固型化	S: 薬物消毒	Z: その他

⑥処理・処分方法コード表

<自己処理> Q1: 自社の処分場で埋立処分した。 V1: 自社で再利用した。 V2: 自社現場内で利用した。 W1: 売却(利益があった)した。 Z1: 自社で保管している。	<産業廃棄物処理業者等へ委託処理> S1: 処理業者の処分場で直接埋立処理した。 S2: (一財)広島県環境保全公社で直接埋立処分した。 T1: 処理業者で直接海洋投入した。 U1: 処理業者に中間処理(資源化・リサイクルを含む)を委託した。 X1: 廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等でリサイクル(無償譲渡)した。
<その他> Z9: その他	<市町村へ委託処理> R1: 市町村、一部事務組合等が設置する一般廃棄物処分場で埋立した。 R5: 市町村の清掃工場で処理(焼却、破碎、脱水等)した。(ごみ収集を含む) R6: 市町村の清掃工場でリサイクルした。

⑩委託中間処理方法コード表

A: 焼却	P: 乾熱滅菌
B: 脱水	R: オートクレーブ
C: 天日乾燥	S: 薬物消毒
D: 機械乾燥	T: 金属(鉄)回収
E: 油水分離	U: 非鉄金属回収
F: 中和	V: 濃縮
G: 破碎	W: 油化
H: 分級	X: 造粒固化・混練固化
I: 圧縮	Y: 解体
J: 溶融	
K: 切断	
L: 焼成	
(セメント固型化)	
M: 堆肥化(発酵)	
N: 銀回収	
O: コークリート固型化	

⑪資源化用途コード表

10: 鉄鋼原料	60: ハルブ・紙原材料
20: 非鉄金属等原材料	70: ガラス原材料
30: 燃料	80: プラスチック原材料
31: 木炭・炭化物	81: 再生タイヤ
41: 飼料	90: セメント原材料
42: 肥料	91: 再生油・再生溶剤
43: 土壌改良材	92: 中和剤
50: 土木・建設資材	93: 高炉還元
51: 再生木材・合板	98: その他
52: 再生骨材・再生路盤材	

⑬: 委託中間処理後の産業廃棄物(処理残さ含む)を、最終的に再生利用(売却含む)又は埋立処分した場所を記入してください。所在地が県外の場合は、県名から記入してください。
なお、中間処理業者自らが処理後に有価物(商品等)として売却している場合は、中間処理施設の所在地(設置場所)が「最終処分場所(⑧=⑬)」に該当します。

⑭: 委託中間処理後の産業廃棄物(処理残さ含む)を、最終的に再生利用(売却含む)又は埋立処分した処分業者名(売却先が特定できる場合は、事業者名)を記入してください。
なお、中間処理業者自らが処理後に有価物(商品等)として売却している場合は、中間処理業者が再生利用先(⑦=⑭)に該当します。

①②: 別添の「廃棄物分類表」を参照してください。
③: 該当する単位に、必ず〇をつけてください。
⑤: 微量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」を記入し、単位はkgに〇をつけてください。
⑥⑦: 廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入してください。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、
⑧: 所在地が広島県外の場合は、県名から記入してください。

⑪委託中間処理後の処分方法
1 再利用・再生利用した
2 埋立処分した
3 海洋投入した

区分	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量					④方法番号	⑤中間処理後の量					⑥処理・処分方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称(収集運搬業者ではなく、処分業者名、再生業者名をご記入ください。)	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨所在地番号	⑩方法番号			⑪処理後の処分方法	⑫資源化用途	⑬最終処分(再生を含む)の場所	⑭再生利用先又は処分業者							
			百	十	万	千	百		十	百	十	万	千					百	十	1次					2次	3次					
記入例:A	1 ●感染性産業廃棄物	7300		1	2	0	0	kg							U1	〇〇産業	都道府県市町村					1	2	3		都道府県市町村	広島	府県市	××(株)		
記入例:B	2 ●感染性産業廃棄物	7300		3	7	0	0	kg				2	5	0	kg	S1	△△工業(株)	岡山	都道府県市町村				1	2	3		都道府県市町村	岡山	府県市		
記入例:C	3 ●レントゲン定着廃液	0401		4	0	0	kg								U1	(株)〇×	都道府県市町村	広島	都道府県市町村				1	2	3	20	都道府県市町村	広島	府県市	(株)〇×	
記入例:D	4 ●レントゲン現像廃液	0501		3	0	0	kg								U1	(株)〇×	都道府県市町村	広島	都道府県市町村				1	2	3		都道府県市町村	山口	府県市	宇部	△×(株)
記入例:D	5 ●廃プラスチック	0614		8	0	kg									U1	□▲商店	都道府県市町村	岡山	都道府県市町村				1	2	3		都道府県市町村	岡山	府県市	津山	(株)〇〇

記入例:A

- 当病院では、**感染性産業廃棄物**が年間1200kg発生した。
- 院内では処理せず**呉市**に処理施設を保有する〇〇産業に委託し、**焼却処理**してもらった。
- 焼却後の燃え殻は**広島市**にある××(株)の最終処分場で埋立処分しているとのことである。

記入例:B

- 当病院では、**感染性産業廃棄物**が年間3700kg発生した。
- 院内の**焼却炉**で焼却し、その灰は250kgであった。
- 灰は、**岡山県倉敷市**に管理型の処分場を保有する△△工業(株)に委託し、埋立処分してもらった。

記入例:C

- レントゲン定着廃液**が年間400kg発生し、定期的に取りに来る(株)〇×(広島市)に処理を委託している。
- (株)〇×では、廃液から**銀**を回収しているようである。
- レントゲン現像廃液**も年間300kg発生し同業者に処理を委託している。
- 業者で中和処理後、脱水をして**山口県宇部市**にある△×(株)の最終処分場で埋立処分している。

記入例:D

- 当病院では、**廃プラスチック**が年間80kg発生した。
- 院内では処理せず**岡山県津山市**に処理施設を保有する□▲商店に委託し、**焼却処理**してもらった。
- 焼却後の燃え殻は、同じく**岡山県津山市**の(株)〇〇で、埋立処分しているとのことである。